

# 大崎上島の風に吹かれて

## お世話になった民泊家庭からのメッセージ

・修学旅行での民泊体験は、**子どもたちにとっては不安なことだったのかもしれませんが**。しかし、民泊期間に子どもたちとたくさんお話をし、一緒にご飯を食べて、同じ時間を過ごしました。4時間釣りをして、魚もたくさん釣ることができました。魚と一緒に捌きました。自分で釣った魚を捌いて刺身として食べるのも初体験だと言うことで、楽しそうにしていました。そんな中で、**勉強の話やクラブの話、自分の将来の話も聞かせてくれました**。尼崎に帰っても頑張りたいと思います。時々は大崎上島のことも思い出してくださいね。

・もっと生徒さんと一緒に作業したかったのですが、突然仕事が入ってしまって家族の者に任せきりになってしまいました。それでも、一緒に神峰山に登ったり魚釣りに行ったり買い物に行ったりしました。3人とも性格のよい落ち着いた生徒さんで、何の問題もなく私たちも楽しんで気持ちよく3日間を過ごすことができました。大崎上島は今の生徒さんには物足りない島だったのかもしれませんが、**私たちは生徒さん達と有意義に過ごすことができましたし、生徒さんもこの大崎上島での体験で何かを学び取ってもらえたら嬉しく思います**。来春にはみなさんが希望の進路に進み素敵な笑顔になれることを祈っております。

・**15才の生徒さんはまだ子供でありもう大人であり、未来ある人間であります**。みんなよい子たちでした。これからの彼らの人生に幸あれ。

・受け入れ側としては肩肘張らず、ともに楽しむことができたと思います。全員しっかりと返事ができることや、**頼まれたことに対して「僕がやります！」という積極的な言葉に驚きましたし、感動しました**。都会暮らしの彼らに離島の不便さとともに、**地域に根ざした田舎の生活や豊かな自然を体験してもらったことは良かったのではないか**と思っています。大崎上島での体験が、彼らの将来の行き方の参考になれば幸いです。ありがとうございました。

・今回、熱を出してしまった子がいて心配しました。事務局の素早い対応や、先生方の子どもたちに対する心配りがとてもよかったですと感じました。**生徒さんたちとは、もっと時間をかけていろいろと話ができたよかったです**と思います。

・**友だちとの和。他者との和。時の流れ。離島でしか感じ取れない何かを思い出として**、今後の成長の中で活かしてもらえたら嬉しいです。

・とても礼儀正しい子どもたちでした。**たくさんご飯を食べてくれました。こちらも嬉しく思いました**。今回の体験をこれからの人生に活かして欲しいです。

・最初は気を遣っていて慣れない様子でした。最近の中学生のみなさんなので、会話もYES・NOや首を振って終わってしまうことが多く、**これからも実際にコミュニケーションを取る場面をたくさん体験された方がいいのかな**と思いました。ムードメーカーの子に助けられながら徐々にうち解けることができました。みんなスケジュールどおりに行動できていて感心しました。

・島の良さを一生懸命に伝えようと思いましたが、うまく伝えられたかどうかはわかりません。しかし、**この大崎上島で今までにない何かを感じ取ってもらえたのではないのでしょうか**。生徒さんたちがいずれ社会人となった時、この修学旅行での体験がどこかで生きてくれることを願っています。

・**民泊家庭に宿泊し寝食を共にすることは、生徒も受け入れ側も初対面なので最初は気を遣いますが、うち解けるのに時間はかかりませんでした**。今回は私たちへのインタビューやアンケートもあって、より親近感が湧きました。生徒たちには今回の体験が将来何らかの形で活かされると信じています。人生一度きり。後悔しないように前を向いて歩いていってください。

・3人ともとてもよい子たちでした。**もう少し積極的になれたらもっと良いと思います**。若いときの失敗はすぐに取り返すことができます。これからも、自分の目標に向かって一生懸命に頑張りたいと思います。

・どの子どもさんも礼儀正しくよい子ばかりでした。**たくさんの元気をもらいました。よい出会いをさせてもらって感謝しています**。今後の自分の夢に向かって輝いて欲しいと思います。よい思い出をありがとう。

・とても元気で、受け入れ側も元気をもらいました。「**最近の若いもんは・・・**」なんて言いますが、**大丈夫です。きちんと挨拶ができて、個性があって、楽しかったです**。おにぎり、美味しかったです！

・今回はこの季節ならではの体験活動ができたと思います。その体験の中で、コミュニケーション、友人愛、家族愛、ルールを守ることなどを学び取ってくだされば嬉しいです。また**食事を通して、農作業や漁業の喜びや難しさ、魚類・肉類を食することで、大切な命を頂いているということを感じてもらえればと思っています**。また別の時期にこの大崎上島を訪れて欲しいと思います。

・とても素直なよい生徒さんでした。あたたかい家庭や学校で育ってこられたんだなと思いました。おもてなしは十分にできませんでしたが、**初めて出会う人間同士が普段の生活を営む中で、生徒さんの成長のお手伝いをできたのではないかと思います**。よい思い出になれば嬉しいです。

・**小田北中学校の生徒さんたちの行儀の良さにはいささか驚きました**。いつも靴をそろえているし、就寝前にはみんな揃っておやすみの挨拶に来てくれたのはビックリです。我が家はすでに十数校の生徒さんを受け入れていますが、わざわざ就寝前にみんなで挨拶に来てくれたのは初めてでした。4人とも素直な子たちで、**私たちも楽しませてもらいました**。小田北中学校の生徒さんたちには、まだぜひ大崎上島に来て欲しいと思います。

・我が家にとっては孫と同年代の子どもたち。**一見ずいぶん大人しそうに見えても、実はしっかりと話しをできる子たちでした**。「将来は自分の親を大切にできる人と結婚して欲しい」そんな会話もしました。島の生活についても話を気持ちよく聞いてくれる生徒さんたちでよかったです。

・島の自然や田舎の暮らしを体験することで、都会とは違ったスローな生活を実感して欲しいと思って受け入れました。これからの成長の過程でいろんな人や物との関わりの中で、周りの雑音に流されず広い視野で物事を見て、自分で判断し行動できる人となることを期待しています。**実際に2泊3日行動を共にすることによって、少しではあるが大人に近づくことができたのではないのでしょうか**。

・3日間私たち夫婦も孫が帰ってきてくれたようで、一緒にいろいろ楽しむことができよい思い出になりました。最初は少し緊張気味でしたが、時間とともにそれぞれの個性がわかるようになり、最後の夜には私の中2の孫と楽しそうにトランプをしていていました。時間をしっかりと守れるとても素直な生徒さんでした。**我が家にとっても楽しい3日間でした。ありがとう**。

・たくさんの笑い声を聞くことができ、**こちらも元気をもらいました**。

・3人を受け入れましたが、受け答えもしっかりしていろいろなことを素直に喜んでくれていました。3人とも生活環境が違うのか、「卵も割ったことないか？」などとお互い仲良く言い合っていました。**あまり積極機に行動できない子には、「尼崎に戻っても家の人がしていることをしっかり見て自分からお手伝いできるといいね」と話しました**。きっとその子も刺激を受けたことだと思います。**3人ともとてもかわいい子達でした。我が子にしたいくらいです**。楽しい時間をありがとうございました。

・**話をするときは大きな声ではっきりと、決められた時間はしっかり守って行動してください**。感情をもっと表に出して、若者らしく振る舞ってください。

・とても楽しく話をすることができました。**クラブのことや学校での話、恋の話もたくさんしました**。とても楽しい時間が過ごせたのが何よりでした。また大崎上島に来てください。

・**行動はいつも走って行動したり、いろいろ頑張って行動してみようという気持ちが伝わってきました**。最初は緊張で笑顔も少なかったのですが、ジャム作りの作業や小さい子どもとのふれ合いの中で笑顔をたくさん見ることでできるようになりました。**こちらもいろいろ勉強させてもらいました**。

・今回は私たちの島に来てくださりありがとうございました。私たち夫婦も人口の多い街からのUターンした者として、都会では味わえない暮らしを少しでも味わってもらえたかなと思っています。「田舎がよい」なんて言う気は全くありません。しかし、**普段の生活の中でしんどくなってしまったときに、ふとこの民泊の体験を思い出して、広い視野をもてるようになることを期待しています**。また小田北中学校の生徒はあいさつや返事をしっかりとしてくれて、大変気持ちよく3日間を過ごすことができました。何かのきっかけでこの大崎上島のことを思い出してくれたら、こんなに嬉しいことはありません。ありがとうございました。

・島のよさをわかってもらいたいと思って受け入れました。**将来大崎上島のことを覚えてくれていて、遊びに来てくれたら嬉しく思います**。

・**生徒さんたちは明るくハキハキとしたいいい子たちでした。こちらも遠慮なしに話したりお願いしたりすることができました**。起床時間前に起こさなくても自分たちで起きることができました。スバラシイ！食べ物などに好き嫌いが多かったようなので、体のために苦手なものも少しでも食べられるようになってほしいです。イノシシの金網の運搬も積極的に動いてくれました。今後もいろいろな面で積極的にチャレンジしてほしいと思います。 つづく…

# 大崎上島の風に吹かれて

## お世話になった民泊家庭からのメッセージ②

・我が家の孫と同じ世代だったので、**本当の家族のように接することができ、うち解けることができました。**短時間で都会ではできないいろいろな体験をこなして疲れたと思いますが、生徒さんたちにとってきっとよい思い出になったことだと信じています。この体験をこれからの人生において活かして行って欲しいです。私たちが生徒さん側からインタビューなどを受けたりと、**学校側も本当に真剣に取り組んでおられるのだなと感じました。**また高校生になったら遊びに来てください。楽しい3日間でした。元気をもらって、また明日から頑張れそうです。

・生徒さんには**大崎上島の自然や風物、島の人々やその暮らしを感じてもらえたと思うし、それを記憶として強く残して行ってほしいと思います。**生徒さんはとてもよい反応で楽しそうでした。島での生活を心からエンジョイしてくれていたと思います。

・民泊受け入れでは家業体験が主ですが、**様々な体験を通してこの大崎上島をしっかり見て感じて欲しいと思い、生徒さんたちと生活を共にしました。**

・**礼儀正しい生徒さんたちでした。**自然豊かな大崎上島で島暮らしのすばらしさを感じて欲しかった。これからも努力を重ねて立派な大人になってください。島への再訪を待っています。

・第一印象は大人しそうで話を聞いてくれるか不安でした。**実際にも大人しくまじめな生徒さんでしたが、たくさん話をしてくれましたし物事への取り組みがしっかりしていると思いました。**コミュニケーションを取りながらいろいろ行動をしたのですが、こちらが欲張ってあれもこれも体験してほしいと思ってしまって結局ハードスケジュールになってしまい、生徒さんたちがどう感じたのかは少々不安です。**受け入れ側としては逆に生徒さんたちからパワーを**

**もらい充実した3日間でした。**生徒さんたちにはこれからさらにいろいろな経験を積んで、大きくたくましい人間になって欲しいと思います。

・どんな子どもたちが来るのか、食べ物の好き嫌いはあるのかなど、不安でいっぱいでした。しかし、**決まり事や約束事はしっかり守り、苦手な食べ物もこちらが心配するほどに頑張って挑戦しようとしてくれたことは、農業に従事する者として大変嬉しく思いました。**体験活動を通して子どもたちの希望に応えられたかはわかりませんが、今後もいろいろなことを体験し、挑戦して行って欲しいと思います。今回の修学旅行を契機に、**大崎上島を第2のふるさととして、私たちが島ジジ島ババと思って再来島してくれれば大変嬉しいです。**そして何より私たち夫婦に「**元気**」を与えてくれた子どもたちに感謝の一言です。ありがとう。残り少ない中学校生活をのびのびと過ごして、希望の進路に進まれることを願っています。

・メバルの捌き方やタコの塩もみ。初めての体験で触ることは抵抗があったかもしれませんが。しかし積極的に頑張ってくれたので嬉しかったです。布団もきれいにたたんでくれたので助かりました。**大崎上島で民泊体験したことを、みなさんが大人になった時にふと思い出してくれたら嬉しいなと思います。**人生一度きり。いっぱい楽しんでください。また来てね！

・うちの孫と同級生で話が弾んでいました。**今回の経験を経て立派な大人になってください。そしてまた大崎上島に来島してください。**

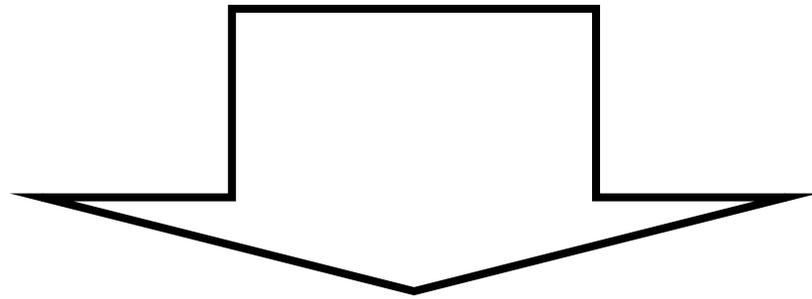
・**ユーモアある学生さんたちだなと思いました。**自己紹介もきちんとされていました。小食だったのが少し気になりました。

・2泊してくれたので、生徒さんたちの性格や特徴がやっとわかったと思ったら、お別れでした。「**最初から出来たり知っていたりすることはないのだから、初めてのことにもチャレンジして自分を磨き、いろいろ体験することが大切だよ**」という話をしました。大きな可能性のあるみなさん。心の豊かな人になって欲しいです。

・孫たちとの2泊3日。元気とパワーをたくさんもらいました。純粹なところもしっかりと一本筋の通ったところも見せてくれました。**神峰山と一緒に登った時、「大丈夫？」と声をかけながら私の前後についてくれた気配りに感心しました。**体験でも**みんなで和気あいあいと一生懸命に学ぼうとする姿に、私も嬉しくなりました。**何事にも愛を持って、これからもまっすぐに伸びて行ってください。自然を愛し、自然を大切にしてください。**本当にありがとう。何度も何度も、ありがとう。**

## 修学旅行前アンケート

|                            |    |            |     |     |
|----------------------------|----|------------|-----|-----|
| ・民泊よりも観光の方がよかった。           | はい | <b>73%</b> | いいえ | 27% |
| ・民泊は不安だ。                   | はい | <b>73%</b> | いいえ | 27% |
| ・自分は何もできない人間だと<br>感じる時がある。 | はい | 38%        | いいえ | 62% |
| ・自分は人見知りだと思う。              | はい | <b>50%</b> | いいえ | 50% |



## 修学旅行後アンケート

|                               |    |            |     |     |
|-------------------------------|----|------------|-----|-----|
| ・民泊体験はよかったと思う。                | はい | <b>97%</b> | いいえ | 3%  |
| ・いつもより会話や<br>コミュニケーションがとれた。   | はい | <b>90%</b> | いいえ | 10% |
| ・民泊中に感動したり<br>心が揺さぶられることがあった。 | はい | <b>92%</b> | いいえ | 8%  |
| ・新たな価値観や考え方に<br>触れることができた。    | はい | <b>88%</b> | いいえ | 12% |
| ・民泊の方や仲間からの<br>思いやりを感じた。      | はい | <b>97%</b> | いいえ | 3%  |
| ・人は支え合って生きている<br>ということを実感できた。 | はい | <b>97%</b> | いいえ | 3%  |
| ・もう一度大崎上島に行ってみたい。             | はい | <b>97%</b> | いいえ | 3%  |

大崎上島に行く前のキミたち。「民泊なんてイヤや!」「なんで知らない人の家に泊まりに行かなアカンの!」そんな声があちこちで聞かれました。そして修学旅行から戻り、学校の日常生活が再開されたいま、わたしたちは改めて大崎上島で過ごした時間をしみじみと振り返っています。あのとき、民泊がイヤだと思った理由は何だったのでしょうか。

初めての人に出会う。初めて出会った人とコミュニケーションをとる。その日に出会った人の家に行く。その日に出会った人とご飯を食べ、その日に出会った人とひとつ屋根の下で寝る。人は、環境が急に変わるとストレスを感じるものです。そんな場面にわざわざ身を置きたくない。ある意味、当たり前前の反応だったのかもしれない。

キミたちはいままで愛されて育ってきました。家庭で、地域で、そして学校で、たくさんのあたたかな眼差しや手助けを受けて育ってきました。ふたつの小学校校区を持つ小田北中学校。だからどこを見回しても、半分は知っている顔。黙っていてもジッとしていようが、自分勝手に振る舞おうが少々駄々をこねてみようが、周りはそのキミのことをよくわかってくれる人ばかり。そんな環境ですくすくと育ってきたキミたちが、行ったこともないし聞いたこともない島にいきなり民泊することとなる。キミたちの心境は、決して穏やかなものではなかったと思います。

車が一番エネルギーを使う瞬間は、時速100キロで飛ばしている時ではなく、静止状態から車輪が動き出す時だといえます。何をするにも「ゼロ」の環境から動き出すには相当のエネルギーが必要になるということです。ちょっとした勇気。ちょっとした配慮。ちょっとした声かけ。ちょっとした行動。キミがもし、何もしようとしなければ、それは元の位置のままの「ゼロ」。しかし、自分から積極的にコミュニケーションをとろうとすることで、相手に安心感を与え、自分も相手から安心して迎えられ、新しい関係の中で自分自身の居場所を作ることができるのです。動き出した人間関係は、お互いを認め合い、お互いを助け合うこととなります。

民泊で家業を体験させてもらっているキミたちの顔。2泊を受け入れてくださった大崎上島のみなさんのメッセージ。そして、キミたちの事後アンケートの結果。慣れ親しんだ場所や環境を離れ、大崎上島という自然豊かな人情あふれる島の生活を体験する。キミたちにかかったストレスや費やしたエネルギーが、そしてそんなキミたちをあたたかく受け入れてくださった大崎上島のみなさんと過ごした時間のすべてが、キミたちを大きく成長させてくれました。

1年後のキミたち…。この小田北中学校を離れ、それぞれがそれぞれの場所で新しい環境で居場所を作ろうと必死になっていると思います。4年後のキミたちも同じ。人生80年の中には、新しい環境に飛び込んでいかなければならない場面が何度もあります。簡単に「イヤ!」とか「ムリ!」と言わないでください。半ば強制的に民泊を体験したキミたちですが、「民泊でよかった!」と思えた人がこんなにたくさんいました。初めての環境の中であってもキミたちの心がけ一つで、キミたちをあたたかく迎え、支えてくれる人が必ずいるということを忘れないでください。そしてキミたち自身も、周りを支える側の人になれるということも忘れないでください。

今回の修学旅行。わたしたち3年教職員も、キミたちのことを受け入れてくださった大崎上島のみなさんとたくさんのお話をしました。大崎上島のみなさんは、いきいきと島のことを話してくださいます。そしてキミたちの様子を目を細めながら語ってくださいます。キミたちのことを「ウチの子は…」「ウチの子は…」って。

「かわいい子には旅をさせよ」とはよく言ったものです。「見えないモノを見に行こう」というスローガンを携えての大崎上島2泊3日の民泊体験。キミたちに足りなかった「モノ」の一部を、大崎上島での出会いと体験の中でたくさん見つけてくれたことだと信じています。優しく素直で少し内弁慶なキミたちの修学旅行。大成功でした。3学年職員一同

**あたたかく受け入れてくださった大崎上島のみなさん、ありがとうございました!**  
**民泊修学旅行にご理解ご協力をいただいた保護者のみなさん、ありがとうございました!**



